

医療的ケア児訪問看護推進モデル事業 同行訪問感想文

訪問看護に同行し大変有意義な時間を過ごすことができた。

小児の発達を信じてケアする姿勢に感銘を受けた。これは成人看護にないケアであり、小児特有である。

小児は疾患を知ること大切だが、小児個々の発達状況を知り、さらに伸ばしていくことが最も重要であると知った。また、家族への働きかけも忘れてはならない。健康児として生まれても子育ては戸惑いの連続である。ましてや障害児を育てることは並大抵のことではない。児のちょっとした反応を家族に教えることから緊急時の対応まで、訪問看護師の担う役割は大きい。そしてなにより、どの子もみんな可愛い。これは揺るぎない事実である。

医療的ケア児の訪問看護の実態を知ることができた貴重な一日であった。小児と触れ合うことができ、とても楽しかった。

足手まといであっただろうに、親切丁寧にご指導くださりまして感謝しております。スタッフの皆様方ありがとうございました。